

普段、何気なく払っている消費税などの税金は、どのように使用されているのか、ふと疑問に思ったので、本当に必要なか考えてみることにした。

まず一つ目は、医療費で多く使われているということだ。私は小さい時からアレルギーを持っていて毎日薬を飲んでいる。今まで、当たり前のように一ヶ月で五百円支払い、約三ヶ月分の薬をもらっていたが、その薬にかかるお金のほとんどは、税金で負担してくれているということを知った。税金で免除されなかったら、かなり多くのお金がかかってしまうため、病院に行くのをためらってしまい、症状が悪くなってしまうので、我慢を強いる生活が必要になってしまいかもしれない。他国では、病院に行きたくてもお金がないので病院に行けず、治療が受けられないという人がたくさんいるそうだ。そう思うと、診察や治療費にかかるお金を税金で負担してくれているのは、とてもありがたいことだと思った。

二つ目は、部活の大会でも税金が使われているということだ。私はこの三年間、大会で勝つため、毎日部活動を頑張ってきた。自分が部活で毎日使う備品や、会場までの交通費の一部、開催された一部の大会にも、税金が使われたんだということを知って驚いた。税金によって主催してもらった大会が、三年間の目標になったこと、その目標に向かって毎日練習できたことに対して、感謝の気持ちでいっぱいになった。

三つ目は、小中学校の教材費、授業料にも税金が使われているということだ。もし、教材費や授業料が自分達で払わなければならなかったら、どうなってしまふのか。お金が払えず、学校に行けない子供が出てきて、勉強したくても学校に行けない子供が増えるかもしれない。勉強するのが辛いと思う時もあるが、こうやって、当たり前前に全員が平等に勉強できるのも、税金のおかげなんだということを知り、普段何げに勉強ができるというこ

とは幸せなことなんだなと思った。

私は5%、8%、10%と消費税が上がって支払うお金が増えるのは嫌だなと思っていたが、税金がどこで何に使われているかを知り、私達が平等に安心して暮らせる要因の一部として、税金のおかげであるのではないかと考えた。

以上のことから、税は私達の生活の基盤を支える、必要不可欠なものだと考える。税金を払い、それを有意義に使用してもらうことにより、助かる命があったり、より幸せな生活を送れる人が増えることを、私は望む。